

# 進路室だより

## 静岡県立富士高等学校進路課

### 高校77回卒業生たちの進路

高校生活は確かに受験だけが全てではありませんが、大学受験という大きな挑戦を通じて目標を達成し、「自分でやり遂げた」という成功体験はとても貴重なものです。大学受験は、初めて経験する大きな挑戦であり、その過程でどれだけ努力するかが結果を大きく左右します。

大学受験は、部活動で言えば全国大会に出場することと同じです。目標を達成するには長い時間がかかり、基礎力をしっかりつけるために地道にコツコツと努力を続ける必要があります。決して簡単な道ではありませんが、その努力が実を結んだときの喜びは計り知れません。途中で投げ出したくなる時や、諦めなくなる瞬間が訪れるかもしれません。しかし、その壁を乗り越えたときには、ただの受験の結果以上のものが得られます。それは、自分自身の成長と、未来に向かって自信を持てる強さを育む大切な経験です。ですから、大学受験を単なる試練としてではなく、自己成長の大きな糧として活かしてほしいと思います。

まず1年目は基礎力養成が重要です。特に英語、数学、国語をしっかりと学び、生活面でも新しい環境に慣れることが大切です。また、部活動などにも積極的に参加し、充実した学校生活を送りましょう。自分の将来についても考え、1年の終わりには目標となる大学を決めることを目指しましょう。

2年目には、英語や国語の単語など覚えるべきことは完成させるなど、基礎力を確実に固めます。また、部活動や生徒会活動など、勉強以外のことも全力で楽しみながら取り組むことも大切です。何かに

熱中することは自分を成長させる大きな力になります。さらに、理科や社会の勉強も開始し、1年生で決めた目標大学をさらに明確にします。2学期が終わる頃には、受験までの1年間の計画を立て、やるべきことを具体的に確認して実行に移しましょう。2年春休みを有効に使うことも大切です。

3年目は、学習の自走化を目指します。自分の問題点を確認し、足りない部分は補講を受けたり、家庭学習で補ったりして、授業をはじめ勉強に主体的に取り組んでください。特に、模試が続く2学期は、模試を上手く活用してください。模試を通して自分の弱点を把握し、復習を徹底することが重要です。模試やテストが続き精神的にも体力的にも厳しい時期が続きますが、本番の入試に向けての練習にもなります。前向きに模試を活用しましょう。最後はその大学に絶対に合格するという強い気持ちを持ち続け、諦めずに勉強を続けることが大事です。

受験勉強を通して得た経験は、単に知識や学力だけでなく、困難を乗り越える力や自己管理能力、そして目標に向かって努力し続ける強い意志が育ちます。これらの経験は、今後の人生のどんな場面にも役立ち、困難な状況に直面したときに自分を支える大きな力となります。だからこそ、この受験勉強を一つの成長の機会と捉え、最後まで諦めずに頑張してほしいと思います。その努力が必ずあなたの未来に繋がると信じています。

2024年度 第3学年部主任 石川貴子

### 1. 合格者数一覧

大学種別コード	現 役		既 卒 者		現・既 計		計	
	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)
国立大学	137	(138)	4	(8)	141	(146)	184	(189)
公立大学	42	(42)	1	(1)	43	(43)		
私立大学	796	(793)	10	(36)	806	(829)	806	(829)
国公立短期大学	0	(1)	0	(0)	0	(1)	0	(1)
私立短期大学	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
文部省所管外大学	3	(1)	0	(0)	3	(1)	3	(1)
各種学校・専修学校	2	(9)	0	(0)	2	(9)	2	(9)
総計	980	(984)	15	(39)	995	(1029)	995	(1029)

## 2. 合格状況の分析

### (1) 国公立大学

国公立大学の一般選抜の志願者数は42万8,492人（前年比101%）、前期日程の志願者数は27万5,313人（前年比101%）、また共通テストの受験者数も同様で前年比101%といずれも前年度並みであった。地域別では、南関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）は4年連続、近畿は3年連続で志願者が増加、同地区における国公立大の人気の高まっている。今年も旧帝大を中心とした難関10大学（旧帝大、科学大、一橋大、神戸大）で志願者がやや減、一方で準難関大で志願者は大きく増加した。特に東大は「2次試験をより丁寧に行う」と、第一段階選抜（いわゆる足切り）の基準を引き上げた結果、過去20年間で最低の志願者数となり、東工大と東京医科歯科大が合併してできた東京科学大も工学系の募集定員を減らしたこともあり、前年比93.3%と志願者減となった。

2025年度入試における本校の国公立大学現役合格者数は179人（総合選抜・学校推薦型含む）であった。共通テストの平均点が上昇し、二次試験における記述力を見極めて、慎重に出願を検討しなければならない入試となった。合格した生徒の多くは、最後まで諦めずに直前補講や個別指導をしっかりと受け、真摯に勉強に向かっていった。また医学部医学科志望者対象のFUJIKO Med.や東大見学会、東北大セミナー、名古屋大セミナーなどの特定大学セミナーなど、本校独自の進路行事を上手に活用した生徒も多数いた。その結果、国公立医学部医学科に10名、難関10大学に33名と近年では最多の合格者を出した。

難関国公立大学の結果（ ）内は昨年度人数  
 東京大 5名（4） 京都大 4名（3）  
 医学部医学科10名（7） 東京科学大（東工大）  
 3名（1） 大阪大 5名（8） 東北大 6名  
 （4） 名古屋大 5（6） 北海道大 1（6）  
 九州大 1名（1） 一橋大 1名（0）  
 神戸大 2名（2） 浜松医大 4名（4）

### (2) 私立大学

2025年度の18歳人口は前年度より増加したが、私立大学の一般選抜志願者数はそれ以上の高い増加率となった。難関私大、有名私大では一般選抜の出願を手厚くする受験生が多かった一方、近年の競争緩和の様相から、その他の大学では難関私大、有名私大ほど出願校数を増やす動きは見られなかった。方法別では、一般選抜方式に比べ、共通テスト利用方式が増加（前年度比113%）したものの、私立大専願者と思われる3科目以下の受験者は減少しており、その中心は国公立大併願者によるものと考えられる。また難関私大を中心に国公立大学と同じ共通テストの受験科目を受験生に求める動きが見られ、最後まで8科目を学び続けることの重要性を改めて認識するものであった。本校でも共通テスト利用方式を活用し、合格を勝ち取った生徒が多数いた。

難関私立大学結果（ ）内は昨年度人数  
 早稲田大11名（10） 慶應義塾大 4名（9）  
 上智大 6名（8） 東京理科大18名（18）  
 立教大14名（21） 明治大28名（38）  
 同志社大15名（21） 立命館大38名（29）

### 3. 校内実力テスト偏差値平均による国公立大合格状況（現役）

5教科平均偏差値	令和7年度入試						令和6年度入試						合格率(%)	
	受験者(延べ)			合格者(延べ)			受験者(延べ)			合格者(延べ)				
	文	理	計	文	理	計	文	理	計	文	理	計	R7年度	R6年度
60以上	11	24	35	8	15	23	9	21	30	7	17	24	65.7	80.0
59～58	5	6	11	4	4	8	2	15	17	2	10	12	72.7	70.6
57～56	3	15	18	2	9	11	4	18	22	3	15	18	61.1	81.8
55～54	10	21	31	8	16	24	3	37	40	2	19	21	77.4	52.5
53～52	9	13	22	4	10	14	10	22	32	7	15	22	63.6	68.8
51～50	8	23	31	7	12	19	7	16	23	5	9	14	61.3	60.9
49～48	13	28	41	11	14	25	8	28	36	6	18	24	61.0	66.7
47～46	10	33	43	6	11	17	4	16	20	3	6	9	39.5	45.0
45～44	11	11	22	8	5	13	11	18	29	5	11	16	59.1	55.2
43～42	5	14	19	3	9	12	9	11	20	3	6	9	63.2	45.0
41～40	2	9	11	1	3	4	2	9	11	1	6	7	36.4	63.6
39～38	1	3	4	0	1	1	4	9	13	1	2	3	25.0	23.1
37以下	4	1	5	2	1	3	9	0	9	1	0	1	60.0	11.1
合計	92	201	293	64	110	174	82	220	302	46	133	179	59.4	59.3

※3教科型(私立文系型)の者は含まない。

## 最近3年間の卒業生の合格状況

### 1. 校種別合格者延数

校種	国立大		公立大		私立大		短大・準大・各種		合計	
	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者
令和7年度	137	4	42	1	796	10	5	1	980	16
令和6年度	138	8	42	1	793	36	11	0	984	45
令和5年度	146	10	28	1	769	28	7	0	950	39

### 2. 校種別・系統別による現役合格者延数

系統	人 文			法、経、商、社会			理 工			医 歯 業 医 療			教 育		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
入試年度	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
国 立	12	13	14	23	13	16	50	64	81	17	11	7	20	20	20
公 立	10	3	4	8	12	9	4	4	3	12	16	8	0	2	1
私 立	181	121	143	192	211	185	195	260	278	94	74	36	45	47	43
国公立短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
準大・各種	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	7	3	0	0	0
合 計	203	139	161	223	236	210	249	328	364	128	108	54	65	70	64

系統	農 水 産			家 政			そ の 他			合 計		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
入試年度	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
国 立	8	11	6	1	1	0	6	5	2	137	138	146
公 立	1	1	1	3	0	0	4	4	2	42	42	28
私 立	27	26	26	27	21	12	35	33	46	796	793	769
国公立短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
準大・各種	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5	10	7
合計	36	39	33	31	12	53	45	42	52	980	984	950

## 3. 大学別合格者数（延べ数）

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
【国立大学】						
帯広畜産大					1	
北見工大					1	
北海道大	1	1	6		3	
北教大旭川校			1			
北教大函館校					1	
室蘭工大	1					
弘前大					1	
東北大	6		4		7	1
秋田大					1	
山形大	1		1		3	
福島大			1		2	
茨城大	1		2		2	
筑波大	3	2	3		5	
宇都宮大	1					
群馬大	2		1	1	1	
埼玉大	3		2	1		1
千葉大	7		14		7	
東京海洋大			1		2	
お茶の水女子大	1				1	
電気通信大			4		2	
東京大	5		4		1	1
東京医歯大					1	
東京外大	2		2		3	
東京学芸大	5				7	
東京芸大						
東京科学大	3		1		1	
東京農工大	1		4		2	
一橋大	1			1		
横浜国立大	3		3		7	
新潟大	3				1	
富山大	2				1	
金沢大	6		3		4	
山梨大	9		6		9	
信州大	4		4	1	9	
岐阜大	1		2		1	
静岡大	31		29	2	33	
浜松医大	4		4			1
愛知教育大			1			
名古屋大	5		6		10	1
名古屋工大			2		1	
三重大		1	1			1
滋賀大					1	
京都大	4		3		4	3
京都教育大	1					
京都工芸繊維大			1			
大阪大	5		8		2	
大阪教育大	1					
神戸大	2		2		1	
奈良女子大	1				1	
鳥取大	1		1			
島根大			2			

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
広島大	2		1		3	
山口大					1	
徳島大	2		1			
鳴門教育大			1			
愛媛大	1				1	
九州大	1		1	1	1	1
長崎大				1		
佐賀大			1			
大分大	1					
宮崎大	1		1			
鹿児島大	2		2			
琉球大			1			
<国立大学合計>	137		138	8	146	10

【公立大学】						
入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
青森県立保健大	1					
宮城大	1					
秋田県立大					1	
国際教養大			1			
福島県立医大			1			1
茨城県立医療大			1			
前橋工科大	1		1			
群馬県立女子大					1	
高崎経大	1		1		1	
千葉保健医療大	2		1		1	
東京都立大	3		2		2	
神奈川県立大	1				1	
横浜市立大	3		4		3	
新潟県立大	1		1			
長岡造形大						1
富山県立大	1					
山梨県立大	2		1			
都留文科大			3		1	
長野大					1	
長野県看護大			1			
諏訪東京理大					1	
静岡文化芸大	5		4		1	
静岡県立大	13	1	15		12	
愛知県立大学	1					
名古屋市立大	2					
福知山公立大	1					
京都府立大					2	
大阪公立大			1	1		
兵庫県立大	1		1			
神戸市外大	1		1			
岡山県立	1					
県立広島大			1			
高知工科大			1			
<公立大学合計>	42		42	1	28	2

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
【私立大学】						
酪農学園大					1	
岩手医大	1					
東北学院大					1	
東北福祉					1	
東北医薬大	1					
国際医療福祉大	6		9			
獨協医大	1					1
東京福祉大			1			
埼玉医大	1		1			1
埼玉工大			1			
東京国際大					1	
獨協大	2		8		1	
文教大	5		3		10	
目白大					1	
十文字学園女大	1					
神田外語大	3				1	
聖徳大			2			
千葉工大	12		24		18	
千葉商大	2					
秀明大			1		1	
植草学園大					1	
青山学院大	14		11		14	1
亜細亜大					1	
桜美林大			2		3	
大妻女子大	1		3		3	
学習院大	6		6	1	9	
北里大	17		6		15	
共立女子大	4		3			
杏林大	2		5		1	
慶応大	4	1	9	2	5	
工学院大	15		5		10	
国学院大	5		5		11	
国士舘大	3		2		1	
駒澤大	10		16		15	
実践女子大	2					
芝浦工大	17		26	16	37	2
順天堂大	11		13		11	
上智大	6		8		7	
昭和医大	3		1			
昭和女子大	5				2	
昭和薬大	2		1		1	
成蹊大	12		17		9	
成城大	5		7		7	
聖心女子大			1			
聖路加国際大					1	
専修大	17		17		28	
創価大					1	
大正大	2				2	

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
大東文化大			7		3	
拓殖大	5			2	2	
玉川大	1		4		8	1
多摩美大	2		2		1	
中央大	21		18	2	22	5
津田塾大	5		15		5	
帝京大	3		1		1	
東海大	7		17		10	
東京医大	4					
東京家政大	1		1		2	
東京経大	1				3	
東京工科大	1		1	2	5	
東京女子大	2		10		8	
東京造形大	1					
東京電機大	3		4	1	5	
東京農大	15		15		9	1
東京薬大	2		2		2	
東京理大	18		18		23	5
東邦大	2		1		2	
東洋大	39		27		31	
日本大	14		25		14	
日本医大			1			
日本社会事業大					1	
日本獣医生命大			2			
日本女子大	3		5		3	
日赤看護大					1	
日本体育大			1			
法政大	34		30	2	37	
星薬大	1				1	1
武蔵大	1		15			
東京都市大	13		10		9	
武蔵野大	4		3		3	1
武蔵野美大	1		5			
明治大	28	1	38	3	32	1
明治学院大	17		16		6	
明治薬大	1		2		1	1
明星大	1					
立教大	14		21	1	15	
立正大	2		2			
早稲田大	11		10		10	3
学習院女子大					1	
麻布大	1		2		2	
神奈川大	28	1	22		28	
神奈川工科大	2		5		3	
鎌倉女子大	3		2		1	
関東学院大	2		3		2	
相模女子大	1					
湘南工科大	1					
昭和音大			1			
マリアンナ医大	1					
鶴見大					1	

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
東京工芸大					2	
横浜薬大	3				2	
湘南医療大	1					
ビューティ職大					1	
金沢工大					1	
金沢学院大	1					
北陸大			1			
帝京科学大					1	
山梨学院大			1		1	
岐阜医療科学大	2					
静岡理工科大	3		3		3	
聖隷クリスト大	1		2			
常葉大	98		107		84	
愛知大	1					
愛知医科大		1				
愛知学院大	3					
愛知工業大			1		2	
金城学院大	3					
椋山女学園大	3				1	
大同大	1					
中京大	8		3			
至学館大			2			
中部大	1		2		2	1
豊田工大	1		1		2	
名古屋外大	2		1		5	
名古屋芸大	1					
南山大	5				2	
日本福祉大	1					
藤田医大	3					1
名城大	17		8		6	1
名古屋学芸大	2		4			
皇学館大					1	
長浜バイオ大			1			
京都外大	2					
京都産業大	6		4		2	
京都女子大	1				2	
京都芸術大			1			
京都橘大					2	1
京都薬大	1					1
同志社大	15	2	21		14	5
同志社女子大	6				4	
佛教大	5		2		1	
立命館大	38	2	29	2	32	5
龍谷大	3		3		13	
大阪医薬大	1					
大阪経大	1					
大阪工大			1			
関西大	12	2	4		7	
関西外大	2					

入試年度 大学	R7年度		R6年度		R5年度	
	現	既	現	既	現	既
近畿大	11		5	2	17	
大和大	1					
関西学院大	11		6		10	
甲南大			1			
甲南女子大			1			
神戸学院大	2					
兵庫医大	1					
武庫川女子大					2	
岡山理大					2	
広島国際大					1	
福岡大	1					
<私立大学合計>	798		793	36	769	39

【短大・準大・専修】						
防衛医科大学校	3		1		2	
国立看護大学校					1	
防衛大学校					1	
静岡県大短大部			1			
名古屋医健スポー			1			
山梨県立農林大学			1			
静岡デザイン専門					1	
東京ビジュアルア					1	
富士市立看護	2		1			
東京警察病院看			1			
都立広尾看護専			1			
JR東京総合病			1			
するが看護専門学			1			
清水海上技術短					1	
富士学林	3		2			
<短大等合計>	8		11	0	7	0

# 2025年度入試を振り返って

## 旧3年部進路課

### 大学入学共通テスト概況分析

#### 新課程入試1年目を考える

2025年度は新課程移行後初めての共通テストとなったが、「思考力・判断力・表現力を問う」という基本的な考えは踏襲されており、全体を通して難易度はやや易しかった。国公立大学志願者が受験する8科目以上の受験者数はほぼ前年並みであり、新教科「情報」の追加で多くの国立大学が必要教科・科目を7科目から8科目に増やしたが、負担増の影響は小さかったと河合塾は分析している。新課程に対応した新教科、科目では、「情報」が追加された他に、「数学」「地歴公民」では科目構成が見直されたが、出題傾向に大きな変化は見られなかった。複数の文章・資料や図表などを読み込ませたうえで、授業や教科書で学んだ知識を関連付けて解答を導き出す力や得られた情報を組み合わせて多角的・多面的に考察する力が求められている。科目再編された「地歴公民」のうち、「地理総合」の分野では、初見の資料を用いた問題が少なく、教科書を中心とした学習で対応できる問題であった。「歴史総合」の分野では、近現代について日本史・世界史のバランスのよい学習が求められた。注目を集めた「情報」では、試作問題通りの出題で全範囲から満遍なく出題された。問題文で与えられた設定や条件を速やかに扱うことが求められたが、教科書にある知識をもとに考察することで解ける問題がほとん

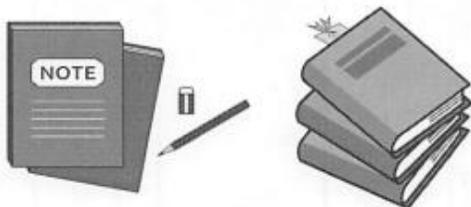
どであった。近代以降の文章に大問が追加された「国語」では、国語としては初めてグラフの読み取りが問われた。「公共」の分野で男女共同参画社会を扱ったのと同様、現代社会を生きる上で要求される力が試された出題であった。

(参考 河合塾 Kei-Net)

#### 新課程入試に向けて

新学習指導要領では、「知識・技能」に加え、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」の3つの柱をバランスよく育むことを目指している。今年度の共通テストでもどの教科科目も、基本的な知識や解法、公式の使い方などを十分に理解したうえで、文章や図表、資料の内容を正しく把握して問題を解くことが求められた。また日常生活や社会の事象における「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた場面が多く設定され、学習の過程が重視される出題も続いている。このような出題に対応するためには、まず授業の中で、答えのない問いに立ち向かい、自分なりの意見を持って学習に臨むことが一層求められる。誰かに答えを「教えてもらう」のではなく、自分で「考える」ことが大切だ。また日頃から身の回りに起こることに対して、既知の知識を関連付けて考えることを習慣にしたり、新聞等でのニュースに関心を持って目を向けることも対策となるだろう。

(旧3年部進路課 大村文美)



# 各学年主任より

## 「克己 心身を練れ」

1学年主任 市川 和久

新緑が目には鮮やかな季節となりました。富士高校に入学して一ヶ月。慌ただしい日々でしたが、皆さんお疲れ様でした。高校生活の三年はあっという間です。後悔のないよう、今を大切に全力で過ごしてください。

さて、最初の学年集会でも話しましたが、今年度の1年生のスローガンは、本校の校訓の一つである「克己 心身を練れ」です。これは、皆さんが自身の殻を破り、大きく成長してほしいという願いから、勝手に私が決めました。

考えてみてください。皆さんが歩んできた道、そして今の方向性の先に広がる未来を。学力とは、自分自身をどれだけ高い視点から見渡せるかに相当します。高い視点から見れば、障害物を乗り越え、その先の景色が見えるはずですよ。

高校時代は、知的好奇心が大きく伸びる大切な時期です。積極的に学び、より高い学力を身につけてくだ

さい。それは、皆さんの将来の選択肢を大きく広げます。

「克己」とは、弱さと向き合い、克服する努力。「心身を練れ」には、学力だけでなく、精神力や体力を鍛え、バランスの取れた成長を遂げようという強い願いが込められています。

困難に直面した時は、遠慮なく私たち教員を頼ってください。担任の先生方はもちろん、私も皆さんの傍で、いつでも耳を傾け、全力でサポートできるように頑張りたいと思います。富士高校での三年間が、皆さんにとって実り多い時間となるよう、共に学び、共に成長していきましょう。

## 「学校の中核となって活躍できる2年生に」

2学年主任 野村 裕子

2年生としての学校生活スタートから約1ヶ月が経ちました。文系理系に分かれ、それぞれの選択に沿った新規の授業が始まっています。部活動でも後輩を迎え、改めて学年がひとつ上がった喜びとやり甲斐、また大変さも感じているのではないのでしょうか。

この一年は学校の中心となつていろいろなことに挑戦できる貴重な一年です。学校生活によく慣れ、余裕が出てきた今だからこそできることはたくさんあります。部活動や生徒会活動、学校行事に熱心に取り組める力は、学習に根気強く取り組める力にもつながっていきます。「心が少しでも動いたら、それは流れを変える大きなチャンスです」と昨年の進路室だよりも書きましたが、是非小さな心の動きを見逃さず、やり過ぎさず、新たな一歩を踏み出してほしいと思います。思い描いたようにはいかないこともあると思いますが、そのたびに少しずつ立ち止まって見直し、修正しながらまた進んでいきましょう。

部活動や生徒会活動、学校行事等を大切にしながら、最低限の家庭学習を確保し続けることも非常に

大切です。学校生活の大半を占める授業を軸とした学習習慣は十分身につけていますか。3年次は理科・社会を仕上げるための学習時間が多く必要になると同時に、国語・数学・英語は発展学習へと移っていきます。是非この一年で国数英の基礎固めを完成させましょう。また、苦手科目を次年度に持ち越さないよう、克服する一年にしていきたいと思います。そのためにも、周囲の仲間と情報を共有し合い、刺激し合って学習に取り組んでほしいと思います。「頑張る仲間がいてくれたから自分も頑張れた」と毎年のように多くの卒業生が話してくれますが、共に目標を持って励む仲間の存在は本当に力強いものになるはずですよ。お互いに助け合い、高め合える学年を目指していきましょう。私たち学年の教員団も、昨年度に引き続き皆さんを全力でサポートしていきます。

## 「巨人の肩の上に立つ」

3学年主任 佐藤 純

3年生はいよいよ受験生となり、これからの1年は自分の進路を実現するための大きな飛躍の年となります。その過程で、不安や苦しさを感じることもあるでしょう。しかし、高い目標を持ち、焦らず努力を続けていけば、必ず道は開けます。

先日の学年集会では、次の3つの話をしました。1つ目は、応援される人になること。2つ目は、レジリエンス(困難に打ち勝つ力)を身につけること。3つ目は、伝統をつなぐ人になること。です。

## 「応援される人になること」

これまで、皆さんは先輩の活躍を応援し、後輩を支えてきました。しかし、今年は皆さん自身が応援される立場になります。保護者の方々、後輩たち、そして私たち教師も、皆さんの努力を全力で応援していきます。受験勉強を進める中で、焦りや不安から心が折れそうになり、時には人に厳しく接してしまうこともあるかもしれません。そんなときこそ、仲間の存在が大きな支えになります。互いに励まし合い、ときには慰め合いながら、一歩ずつ前進していきましょう。信念を持って努力する人は、必ず周囲から応援されます。周りが気持ちよく応援したくなるような人を目指してください。

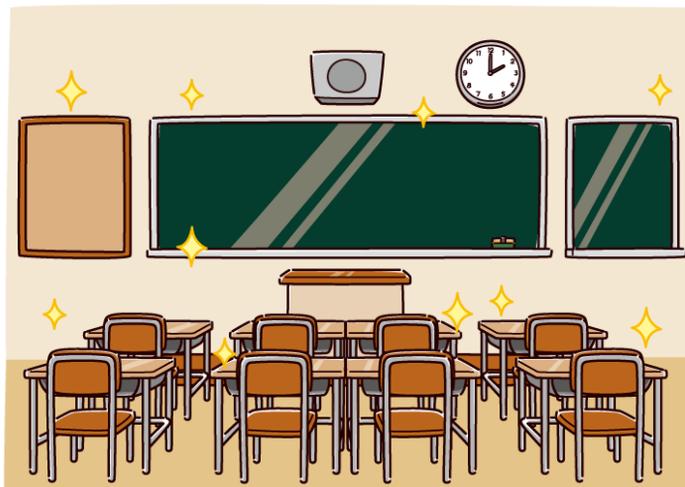
## 「レジリエンス(困難に打ち勝つ力)を身につけること」

レジリエンスとは、困難や逆境を乗り越え、適応し、成長する力のことを指します。ストレスに対する耐性と言い換えることもできます。レジリエンスを身につけるには、以下のことが効果的だとされています。1) ポジティブな思考を持つこと。2) 失敗から学ぶ姿勢を持つこと。3) 感情をコントロールすること。4) 支え合える人間関係を築くこと。5) 小さな成功体験を積み重ねること。日々、仲間と協力して取り組んできたことを、さらに意識的に継続することで、この力は養われていきます。「富士高生として当たり前のことを当たり前にする」ことこそ、レジリエンスの基盤となるのです。受験勉強を通じて、知識だけでなく、困難に立ち向かう力も身につけてください。

## 「伝統をつなぐ人になること」

3月に行われた卒業式や離任式では、卒業生や先生方が幾度となく「富士高の良き伝統をつないでほしい」と話していました。では、富士高の良き伝統とは何でしょうか？ 皆さんは、どのような憧れを持って入学し、何を学び、卒業していくのでしょうか。世の中は多様化し、変化の激しい時代になっています。新しいものに目が向きがちですが、長い年月をかけて紡がれてきた変わらぬ価値あるものに目を向けることも大切です。それらを土台として、自分の核となる「型」を確立していきましょう。受け継がれてきた思いを謙虚に受け止め、愚直に前へ進んでいくことを期待します。この一年が、皆さんにとって人生の大きな成長につながる一年となりますように。

富士高生であることに誇りを持ち、笑顔で卒業を迎えられるよう、共に頑張っていきましょう。



# 卒業生より

## 一橋大学 法学部 法律学科 目黒 蒼弥

まずは目の前にある目標を大事にしてほしいと思います。目標に対して最大限努力すれば、もしその目標が達成できなくても悔しきは残ることはあっても後悔は残らないと思います。そして、その努力は絶対にこれからの糧になるはずです。実際、自分は部活動の目標は達成できませんでしたが、後悔なく引退ができ、部活での努力が受験勉強を乗り越えられた一つの要因だと思っています。

次に仲間とのコミュニケーションを大事にしてほしいと思います。おそらく1人で孤独に頑張っている人は伸びないどころかモチベーションを保つことすら難しいと思います。僕には平日には学校に、休日には公共の学習スペースに行くと共に大学合格を目指す仲間がいました。分からないことを教え合ったり、学校に居られる時間ギリギリまで一緒に勉強したりと切磋琢磨していました。その一方でお昼や下校の時は楽しく雑談していました。正直この時間があるだけで受験期が何百倍楽しくなったし、辛い時期も諦めずに乗り越えることができました。

また、親や先生などお世話になっている方々の感謝を忘れないでください。彼らは常に自分たちの成功を祈っていますし、自分たちが気づいている以上にサポートをしてくれています。そういう人たちに感謝しない人、サポートに相応する努力を怠る人はいずれ見捨てられてしまいます。逆に感謝をする人たちは困った時に絶対に助けてもらえます。ぜひ、感謝を忘れることはなく全員から応援される富士高生になってください。

上記のことから分かるように、僕は基本的に勉強だけしかやってない人は大学に受からないと思っています。もし受かったとしても、その大学では上手くやっっていけないし、社会に出ても通用しません。まずは今ある普通のことや富士高生にとっては当たり前前環境を大切にしながら勉強に励んでください。

受験期は本当に辛いと思いますが、自分の力を信じて自分の念や願望を突き通してください。そうすれば少なくとも悪い方向に向かうことはないと思います。頑張ってください。

## 九州大学 工学部 川群 佐藤 眺帆

1、2年生の頃は受験に関する一つ一つの選択は、将来に関わることなので重く捉えがちで、難しく考えていました。しかし、実際は、自分と向きあいながら決めた選択であるため、負担に感じることは少なかったです。そして、高校三年間を終えて、大切だと感じたことが多々あります。

まずは、志望校を変えずに、一途に第一志望を目指すことです。成績に応じて自分の志望校を度々変えてしまうと、受験勉強に対するモチベーションの低下に繋がります。自分のやりたいことや、興味のあることに取り組める大学や学部学科のリサーチを、1、2年生の頃から始めておくことで、勝負の3年生では、明確な目標を持ちながら受験勉強に集中できました。また、合格後の自分の姿も想像することができたため、挫けることなく取り組みました。

次に、受験を重く考えすぎないことです。自分も周りの子も勉強を必死に頑張っているため、受験に対する不安や焦りを大きく感じすぎてしまうこともあると思います。ですが、受験は多くの高校生が経験する人生の一

つのイベントであると捉えることで、肩の力を抜いて勉強することができました。本番の共テや二次試験では、緊張することがなく、自分の最大限を引き出すことができました。

そして、最後まで諦めないことも大切です。私は、苦手分野であった国語の現代文を最後まで集中的に取り組んだことで、共テ本番では過去最高点を取ることができました。苦手分野であるからこそ努力の成果が表れやすく、私にとって苦手分野の克服が合格への鍵になりました。

受験勉強は、苦しい時もありますが、友達と過ごした休み時間や共に勉強したことで、めげずに乗り越えることができました。努力が結果として表れるタイミングには個人差がありますが、必ず報われます。休息と勉強とのメリハリをしっかりとつけて、限られた時間を最大限に活用し、充実した受験生活を送ってください。

## 現役合格数の比較

入試年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立	180	163	180	152	180	164	146	139	128	161	145	153	146	138	137
公立	38	30	39	32	41	42	40	36	42	41	39	53	28	42	42
私立	472	550	599	669	753	733	701	604	763	880	951	1110	769	794	796
(国立)															
北海道大	6	6	8	4	5	5	6	3	5	5	3	4	3	6	1
東北大	12	16	13	9	6	12	9	6	8	6	7	11	7	4	6
東京大	5	4	4	1	4	2	5	2	1	1	3	1	1	4	5
名古屋大	9	8	20	13	7	13	8	6	7	11	4	8	10	6	5
京都大	4	2	3	4	2	0	2	0	1	4	3	4	4	3	4
大阪大	8	9	6	1	4	1	6	2	1	3	4	3	2	8	5
九州大	2	0	0	3	1	0	1	1	1	1	2	2	1	1	1
一橋大	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	3	0	0	1
東京工業	2	1	0	0	0	1	0	2	1	1	2	1	1	1	3
医学部医学科	1	4	7	4	5	6	2	5	5	6	4	4	2	7	12
計	51	51	62	40	34	40	40	28	31	39	32	41	31	40	43
筑波大	1	1	1	0	4	1	1	7	4	4	6	2	5	3	3
お茶の水女子大	2	3	2	3	1	0	2	1	0	5	1	1	1	0	1
千葉大	8	8	6	6	10	12	7	6	9	5	10	11	7	14	7
横浜国立大	4	6	10	3	10	5	4	4	4	4	3	4	7	3	3
計	15	18	19	12	25	18	14	18	17	18	20	18	20	20	14
静岡大	55	31	37	32	44	35	25	41	30	37	45	35	33	28	31
静岡県立大	13	10	9	8	9	14	13	6	11	19	13	19	12	11	13
(私立)															
早稲田大	11	14	10	10	15	1	7	7	7	7	12	14	10	10	11
慶應義塾大	10	8	4	7	10	2	3	5	4	5	4	5	5	9	4
上智大	3	3	4	2	6	0	4	1	1	2	4	4	7	8	6
東京理大	3	30	41	29	35	27	27	20	9	15	23	21	23	18	18
中央	19	22	21	16	18	25	15	17	15	35	29	36	22	18	21
明治大	25	43	32	28	32	23	21	15	18	31	27	53	32	38	27
立教大	9	29	21	22	17	13	4	8	8	18	11	14	15	21	14
同志社大	5	14	12	5	5	5	4	8	9	5	15	18	14	21	13
立命館	15	25	30	27	25	25	18	17	46	28	20	47	32	29	38
			医は名大 1を含む			医は東北 大1を含む			医は名大 1を含む			医は東北 大1を含む	医は防医 大2を含む	医は防医 大1を含む	防衛医 科・医2

### ◆進路課より◆

この「進路室だより」が配付されるころ、卒業生たちはどんな生活を送っているのだろうか。不安で不確実な日々を送っているかもしれない。すべての人が第一志望の合格を勝ち取れるわけではないというのは当然のこと。しかし、だからこそ精一杯前向きに取り組むしかない。これから入試に挑む皆さんが満足のいく結果を得られることを切に願う。

ぜひ「進路室だより」に寄せられたメッセージに目を通して、進路実現の糧としてほしい。